

2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料



基幹カタログ「ベルーナ」



通販サイト「ベルーナ」



アパレル店舗「BELLUNA」



化粧品通販「オージオ」

ベルーナ

2019年11月20日（水）

1.決算ハイライト	P.2
2.トピックス	P.12
3.経営方針と取り組み	P.14
4.参考資料	P.32

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

売上高・営業利益は前年を上回ったが予算を下回って着地

経常利益と当期純利益は為替の影響等により前年比、予算比共にマイナスとなった

- 売上高は前年比+8.9%増で着地
- 営業利益は0.4%の増益だった
- 経常利益は為替関連損益の影響により、前年比▲50.2%となった
- 当期純利益は前年比▲60.3%で着地した

1-2. 決算概況

BELLUNA

売上高 ～ 前年比+8.9%増となる

営業利益 ～ 予算は下回ったものの増益となった

経常利益、当期純利益は為替関連損益などの

影響で前年比、予算比共にマイナス

単位：億円

連結	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計			20/3期
	実績	実績	予算比	前年比	予算
売上高	791.6	862.2	-0.9%	8.9%	1,850.0
売上原価	341.5	360.3	1.5%	5.5%	730.0
販売管理費	411.6	463.3	-1.4%	12.6%	930.0
営業利益	38.5	38.6	-14.2%	0.4%	140.0
営業外損益	27.7	-5.7	-	-	10.0
(内、為替関連損益)	(22.4)	(-4.5)	-	-	-
経常利益	66.2	33.0	-31.3%	-50.2%	150.0
当期純利益	42.3	16.8	-49.8%	-60.3%	105.0

1-3. セグメント別損益

売上高 ～ 総合通販を除く全セグメントが増収を達成

BELLUNA

営業利益～ 専門通販他3セグメントが増益
総合通販他2セグメントが減益

- ・ 専門通販は化粧品事業、ワイン事業などで新規獲得が好調なことと既存客の高リピートにより、成長性と収益性を牽引
- ・ 総合通販は紙代の値上げや運賃単価の上昇等の影響があるものの利益は概ね想定通りに進捗

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

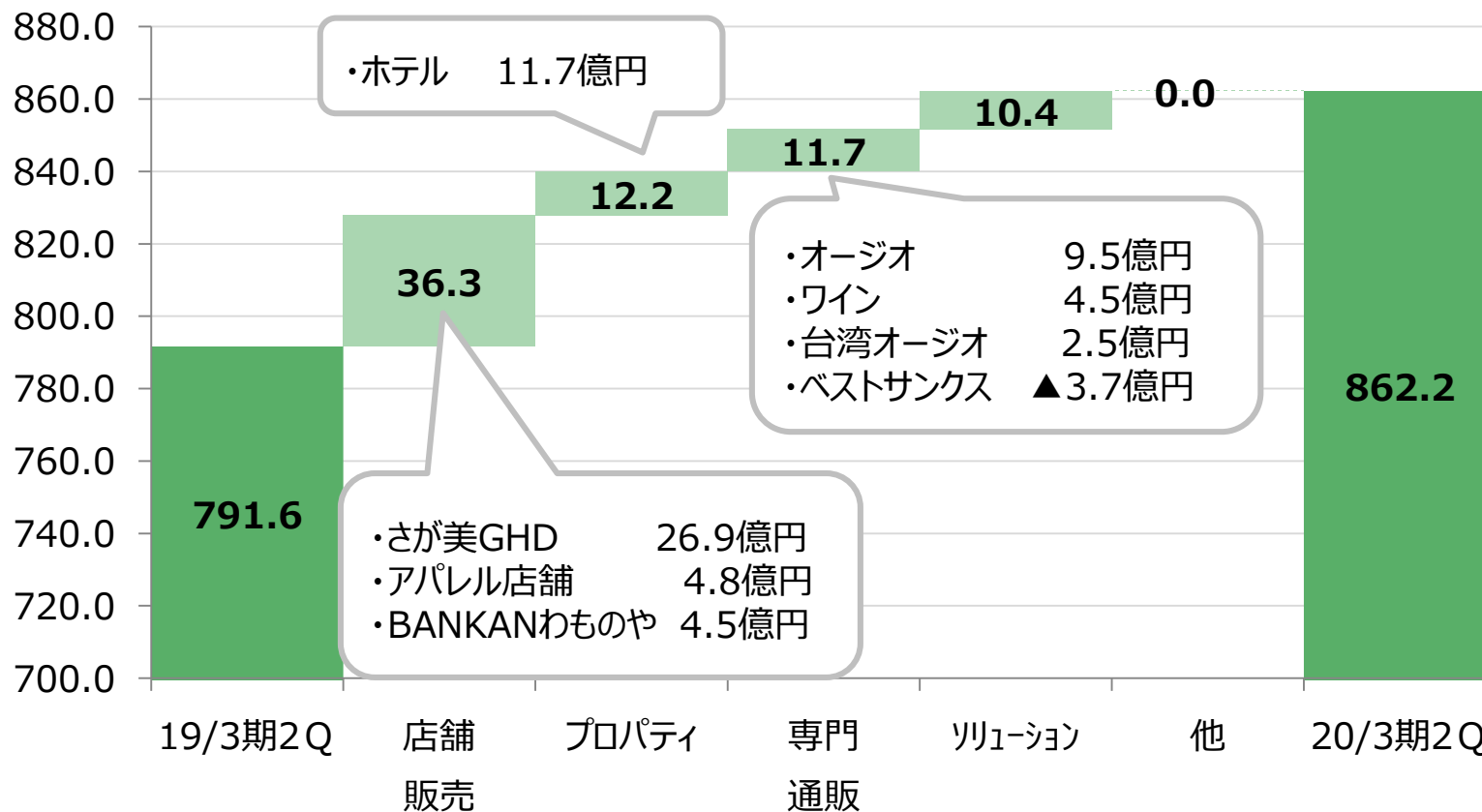
	20/3期2Q累計								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	リ リ ー シ ョ ン	ファイ ナ ンス	プ ロ パ ー ティ	その他	連結 消去	計
売上高	355.4	227.0	156.7	37.6	21.2	44.5	24.5	-4.7	862.2
前年比 (%)	-1.3%	+5.5%	+30.1%	+38.2%	+14.3%	+37.6%	+5.1%	-17.2%	+8.9%
予算比 (%)	+0.7%	-0.8%	-7.3%	+23.6%	-1.4%	-9.2%	-6.4%	-40.4%	-0.9%
営業利益	3.0	15.9	3.4	12.2	8.3	3.0	-5.4	-1.8	38.6
前年比(億円)	-5.4	3.9	-4.5	2.1	0.2	1.2	-0.2	2.7	0.1
予算比(億円)	-0.9	2.3	-4.4	5.0	-0.7	-6.0	-0.3	-1.4	-6.4
営業利益率	0.8%	7.0%	2.2%	32.5%	39.2%	6.8%	-22.1%	37.5%	4.5%

1-4. 売上の増減分析

店舗販売はさが美GHDの連結もあり増収
ホテル事業は、昨年度オープンしたホテルが増収に寄与

売上高の増減要因

単位：億円



1-5. 営業利益の増減分析

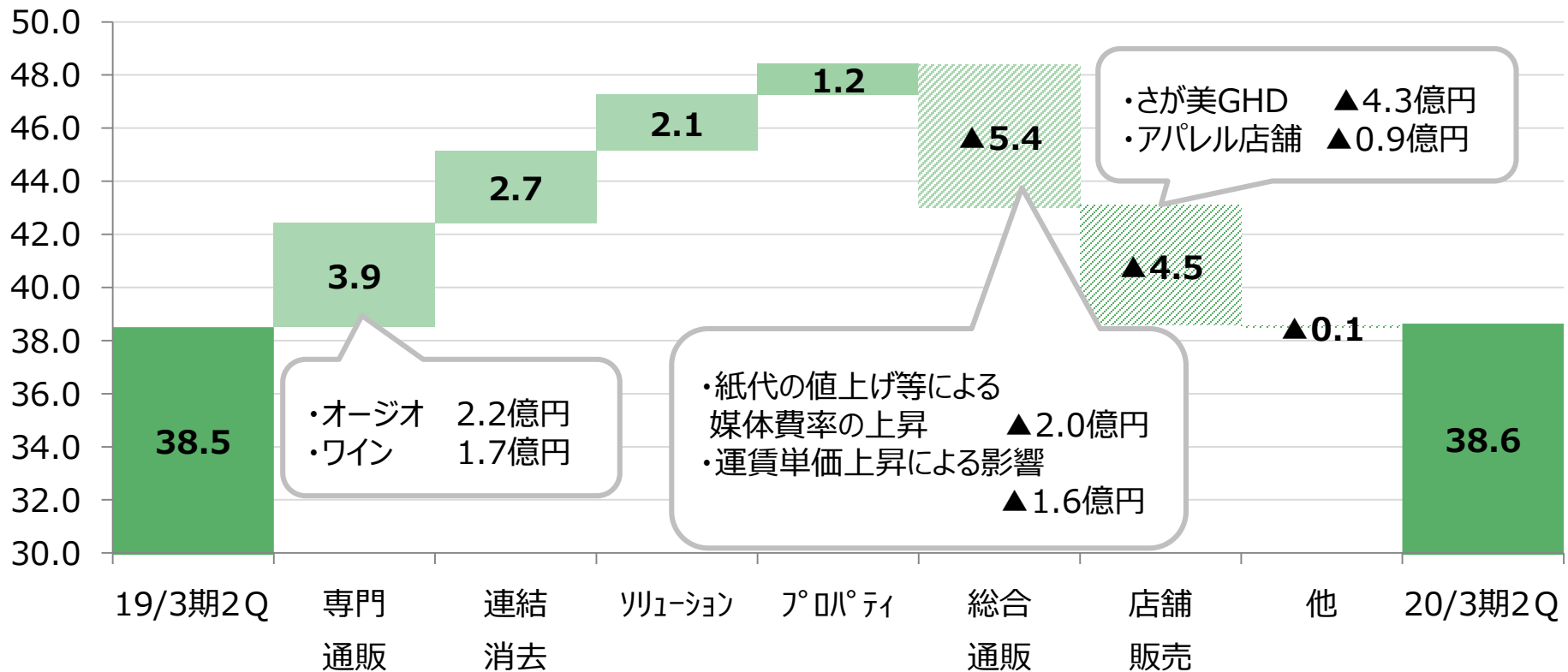
専門通販は化粧品事業、ワイン事業の増収効果などにより増益

総合通販は紙代の値上げや運賃単価の上昇等の影響もあり減益

店舗販売は前連結会計年度に取得したさが美GHDにおいて費用先行する1Qの損益を当期より反映している影響などもあり減益

営業利益の増減要因

単位：億円



1-6. 貸借対照表

BELLUNA

流動資産では営業貸付金、商品などが増加。

固定資産では主に有形固定資産が増加。

これに対し、負債では有利子負債が主に増加

単位：億円

	19/3末	19/9末	増減額
流動資産	992.4	998.0	5.6
現金及び預金	220.7	187.8	-33.0
営業貸付金	237.8	255.7	17.9
商品	208.6	226.8	18.2
固定資産	1,145.4	1,193.0	47.5
有形固定資産	832.0	882.5	50.4
投資その他資産	200.8	197.8	-3.1
総資産	2,137.9	2,191.0	53.1
負債	1,132.5	1,187.4	54.9
有利子負債	697.1	755.7	58.6
純資産	1,005.3	1,003.6	-1.7
自己株式	-1.7	-4.9	-3.2
【自己資本比率】	[46.7%]	[45.5%]	[-1.2P]

1-7. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

税金等調整前当期純利益の減少で営業キャッシュフローが、有形固定資産の取得などで投資キャッシュフローがマイナス。長短借入金が増加し全体としてキャッシュは30.6億円減少した

	19/3期2Q 累計	20/3期2Q累計		単位：億円
		実績	前年比	
営業活動によるキャッシュフロー	12.4	-2.6	-14.9	
税金等調整前当期純利益	65.4	32.5	-32.9	
デリバティブ評価損益	-17.0	3.2	20.2	
営業貸付金の増減	-12.0	-17.6	-5.5	
法人税及び住民税(支払額)	-19.0	-20.3	-1.3	
投資活動によるキャッシュフロー	-104.7	-70.3	34.5	
有形固定資産取得による支出	-38.1	-66.3	-28.2	設備投資*1
子会社株式の取得による支出	-49.2	-5.5	43.8	72.8億円
財務活動によるキャッシュフロー	48.1	44.3	-3.9	
長短借入金の増減	56.8	57.5	0.7	減価償却費*2
自己株式の取得支出	0.0	-3.3	-3.3	16.0億円
キャッシュに係る換算差額	0.1	-2.0	-2.1	
キャッシュ増加額	-44.2	-30.6	13.6	

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む

*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却も含む

1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上高については予算に近い形で進捗しているが、営業利益については予算未達の状況。下半期での挽回を目指す

単位：億円

連結	18/3期		19/3期		20/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,600.0	1,616.7	1,800.0	1,776.5	1,850.0	+4.1%
営業利益	130.0	130.1	150.0	120.1	140.0	+16.6%
経常利益	135.0	132.5	155.0	153.1	150.0	-2.0%
当期純利益	88.0	96.7	105.0	103.4	105.0	+1.5%
有利子負債	530~580	631.2	660~710	697.1	720~770	+3.3~10.4%
純資産	929.3	930.6	1,020.0	1,005.3	1,090.0	+8.4%
ROE	9.5%	10.9%	10.8%	10.8%	10.1%	-0.7P

1-8. 今期予算について

BELLUNA

専門通販とソリューションが引き続き業績を牽引するが、進捗が遅れているセグメントについても各セグメント毎に対策をし、予算へのキャッチアップを目指す

セグメント別の予算

単位：億円

	20/3期 予算								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	735.3	503.0	340.1	69.6	44.3	104.4	80.7	-27.5	1,850.0
前年比 (%)	-5.3%	+5.1%	+20.8%	+11.1%	+15.6%	+29.3%	+16.8%	+167.1%	+4.1%
営業利益	29.0	36.7	13.6	23.8	19.8	15.2	4.5	-2.4	140.0
前年比(億円)	-9.2	4.1	3.5	1.1	2.2	12.8	2.1	3.3	19.9

2. トピックス

BELLUNA

1. (株)アイシーネットの取得

1. (株)アイシーネットの取得

BELLUNA

9月6日付でインポートブランド品の通販(ネット専業)を展開する(株)アイシーネットの全株式を取得し、子会社化

会社名 : 株式会社アイシーネット
所在地 : 東京都八王子市
設立日 : 2008年11月
主な事業 : インポートブランド品の通販
取得日 : 2019年9月
資本金 : 13百万円
実績 : 17年度
売上高 12.6億円
経常利益 0.6億円

- 目的
商品開発ノウハウの共有や商品供給を通じて総合通販事業の成長力、収益力を高める
- 特長
Import Collection YRのショップ名で楽天等のモールに出店。ブランド品の商品調達力に強み

 インポートコレクションワイアール ブランドショップ
Import Collection YR



3. 経営方針と取り組み

BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 株主還元

3. 経営方針 ～外部環境

BELLUNA

経営計画は、外部環境の変化（消費環境の変化や
ネットの伸長）に対応

外部環境

- ・ デフレマインドの継続
- ・ コストの上昇
- ・ ネットの伸長

内部環境

- ・ 単品通販の伸長
- ・ 各ポートフォリオのパワーアップ
- ・ ホテル事業の回復途中

第四次経営計画

(2020年3月期～2022年3月期)

最終年度目標

- 売上高 **2,200億円** (年平均成長率7.4%)
- 営業利益 **200億円** (年平均成長率18.5%)
- ROE **10%以上確保**

主力4事業の拡大

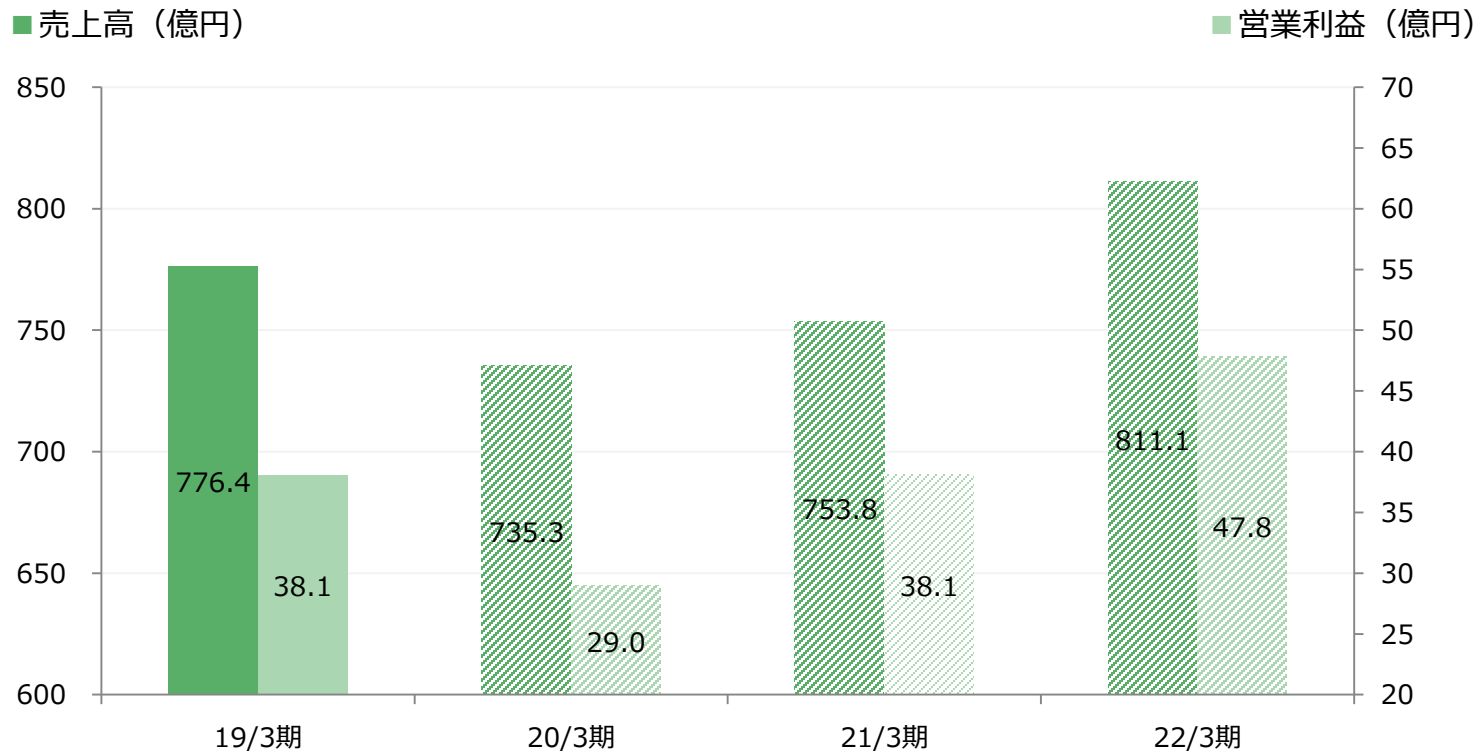
1. **総合通販事業**の復活
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の拡大と収益改善
4. 稼げるホテルを中心にした**プロパティ事業**の強化



3-1. 総合通販事業

(1) 総合通販の状況

夏シーズンは売上に関しては用紙不足の影響もあり、カタログの送付に関して大きな影響が出た
逆風の中での業績の維持と、次の再成長へ向けた取り組みを積極的に行っている



カタログ販売の復活

第四次経営計画では

成熟部門として捉え、750～800億円規模の継続

1. 紙の復活を目指す
2. 20代～70代向けまで商品を提供
3. メンズ、インナーの強化
4. ベルーナ（頒布会）らしい商品の開発

ネットの強化

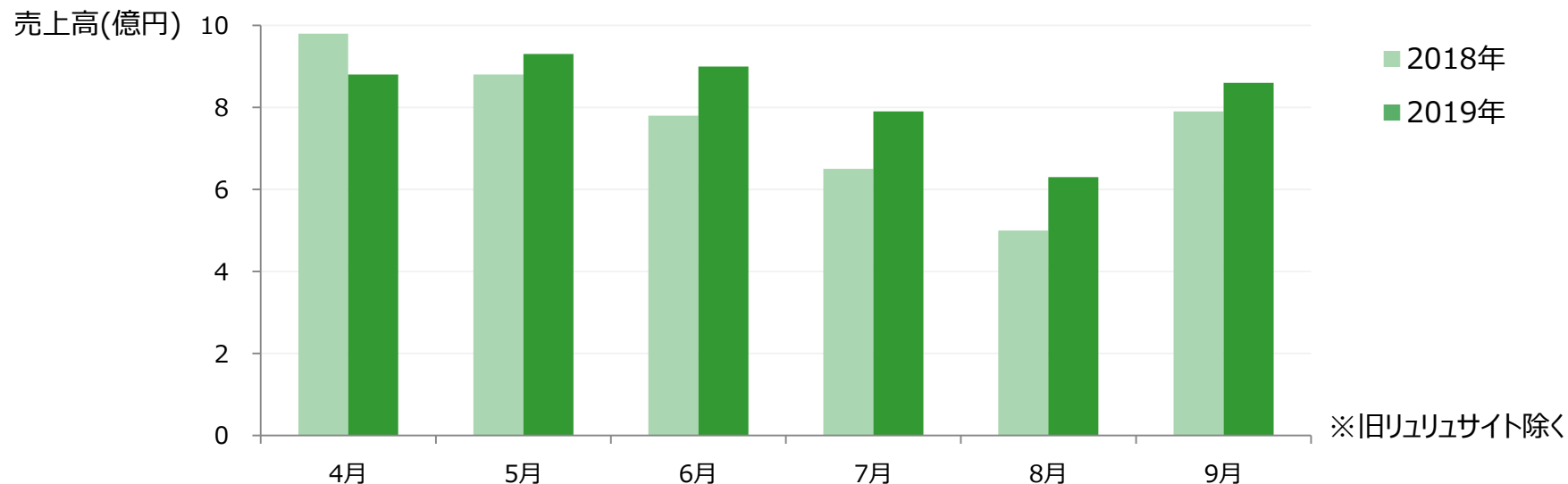
<ベルーナサイト(ミセス向け)>

19年夏シーズンより再成長をスタート

(1)ミセスに特化した商品コンテンツ強化

- ・ネット専用商品
- ・体型カバー特集、大きいサイズ特集

(2)セール依存脱却・通常販売商品を中心としたサイト作り

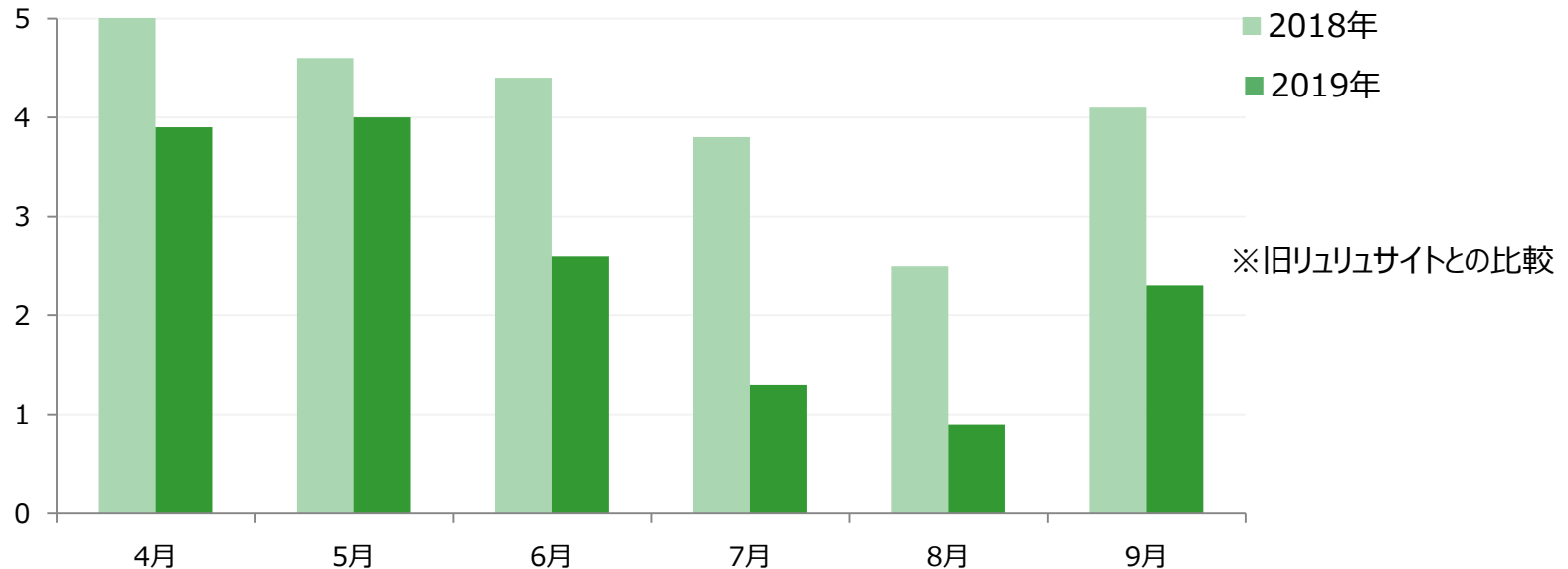


ネットの強化

<リユリモール(若年層向け)>

- ・19年6月17日にオープン
- ・現在は試行錯誤の段階
下半期に成長軌道に乗せていく

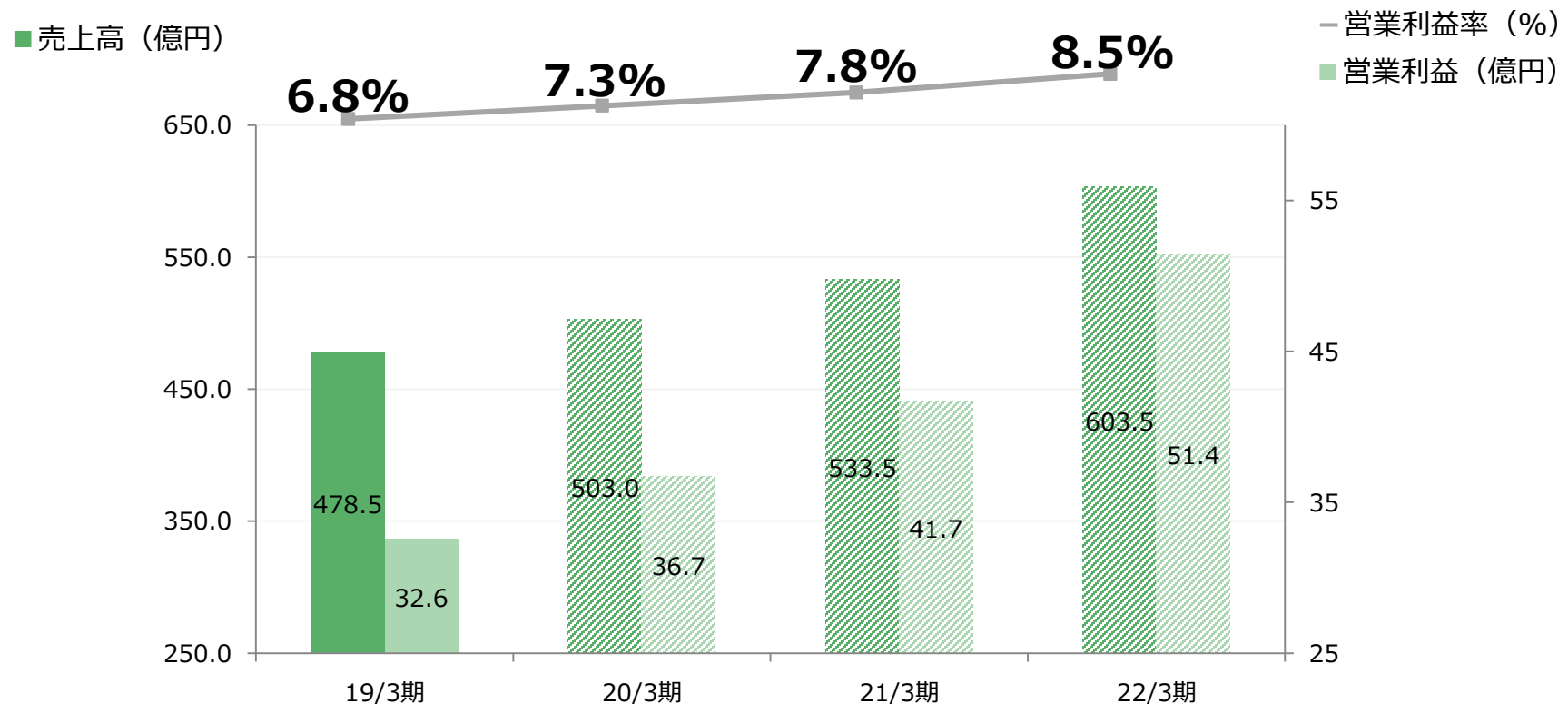
売上高(億円)



3-2. 専門通販事業

BELLUNA

営業利益は予算比前年比共に上回り、順調な進捗
化粧品通販オージオ、ワイン事業の更なる成長に期待
特に化粧品通販は国内外での展開を積極的に進めていく



3-2. 専門通販事業：専門通販売上No.1

BELLUNA

化粧品通販オージオで卵殻膜配合美容液の“ビューティーオープナー”が2年連続で売上No.1となった（東京商工リサーチ調べ）
また、新たに“ビューティークレンジングバーム”がヒットの兆しを見せている。

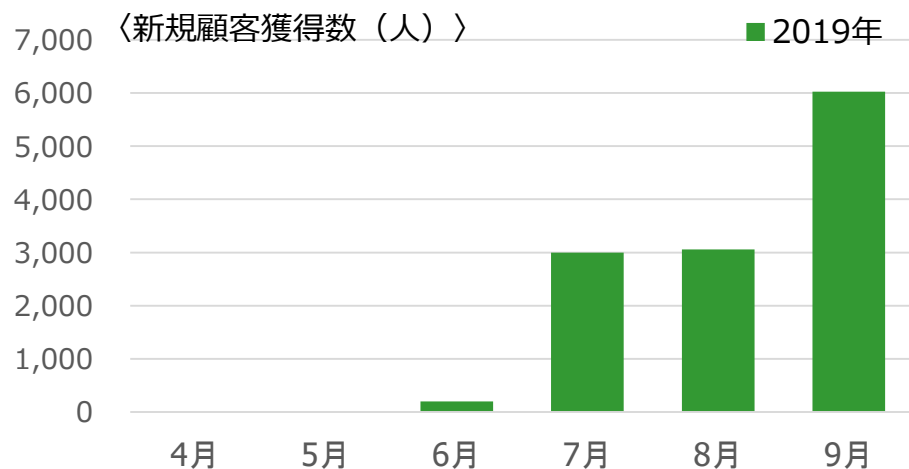
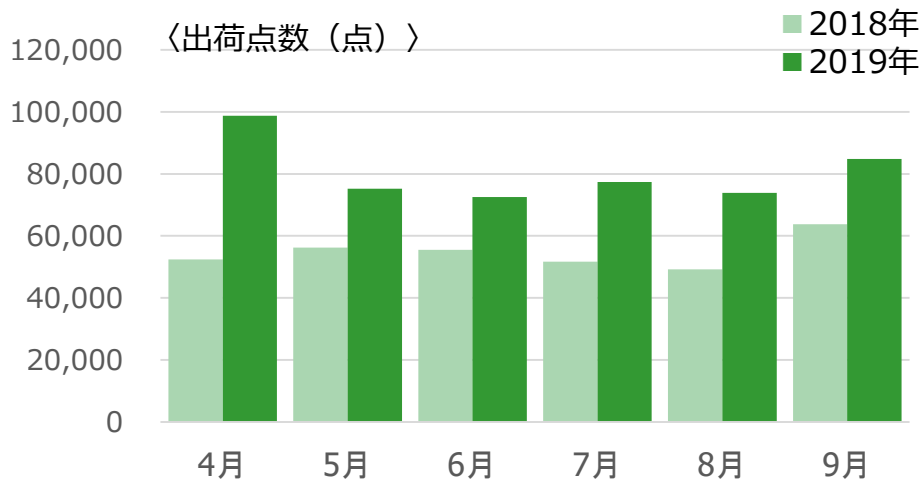
ビューティーオープナー



卵殻膜エキス90%以上配合
美容液通販売上
(東京商工リサーチ調べ2017年1月~12月、
2018年1月~12月)

《卵角膜配合
美容液実績》

ビューティークレンジングバーム



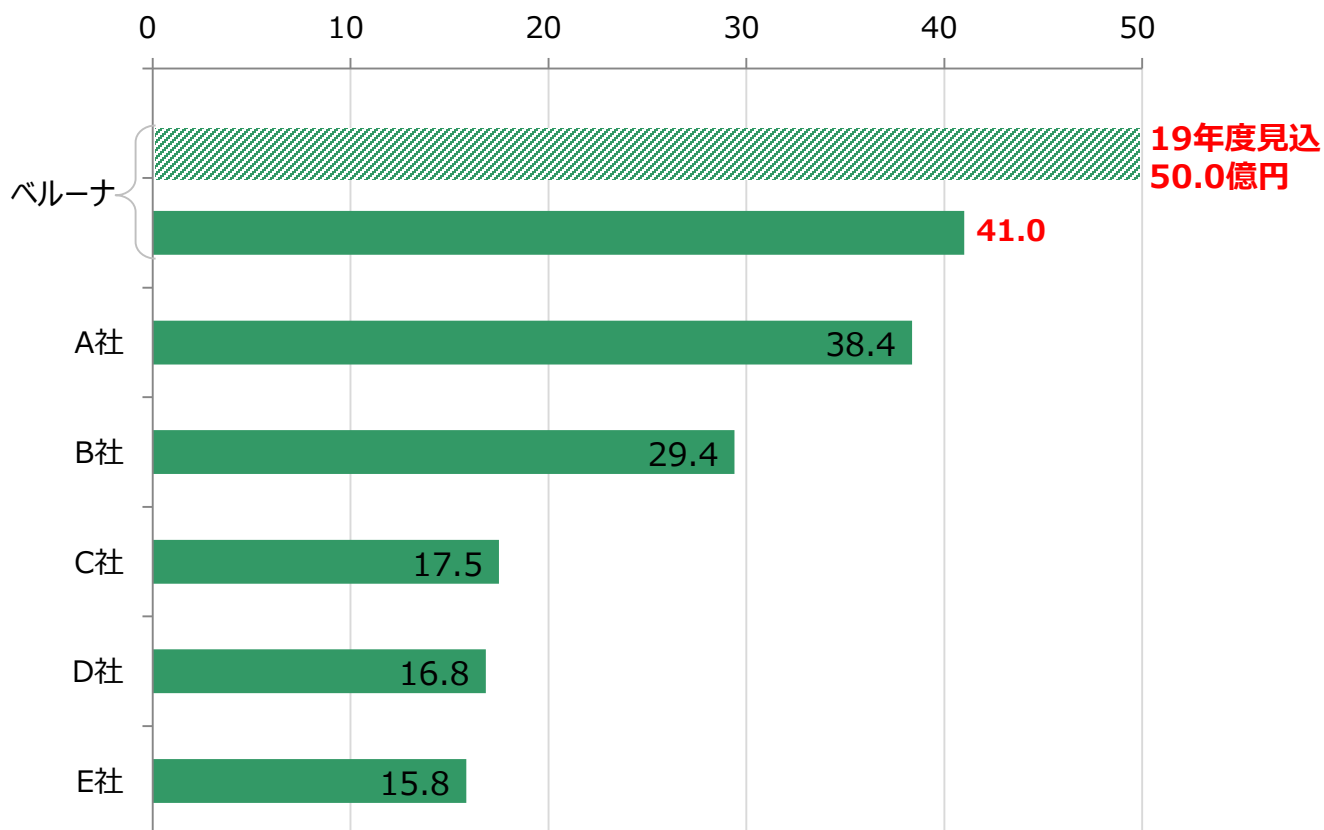
3-2. 専門通販事業：専門通販売上No.1

BELLUNA

ワイン通販が11年連続で売上No.1となった
ネットが好調に推移し、成長を牽引している

《ワイン通販国内売上高ランキング》

(単位：億円)



※2018年度／東京商工リサーチ調べ

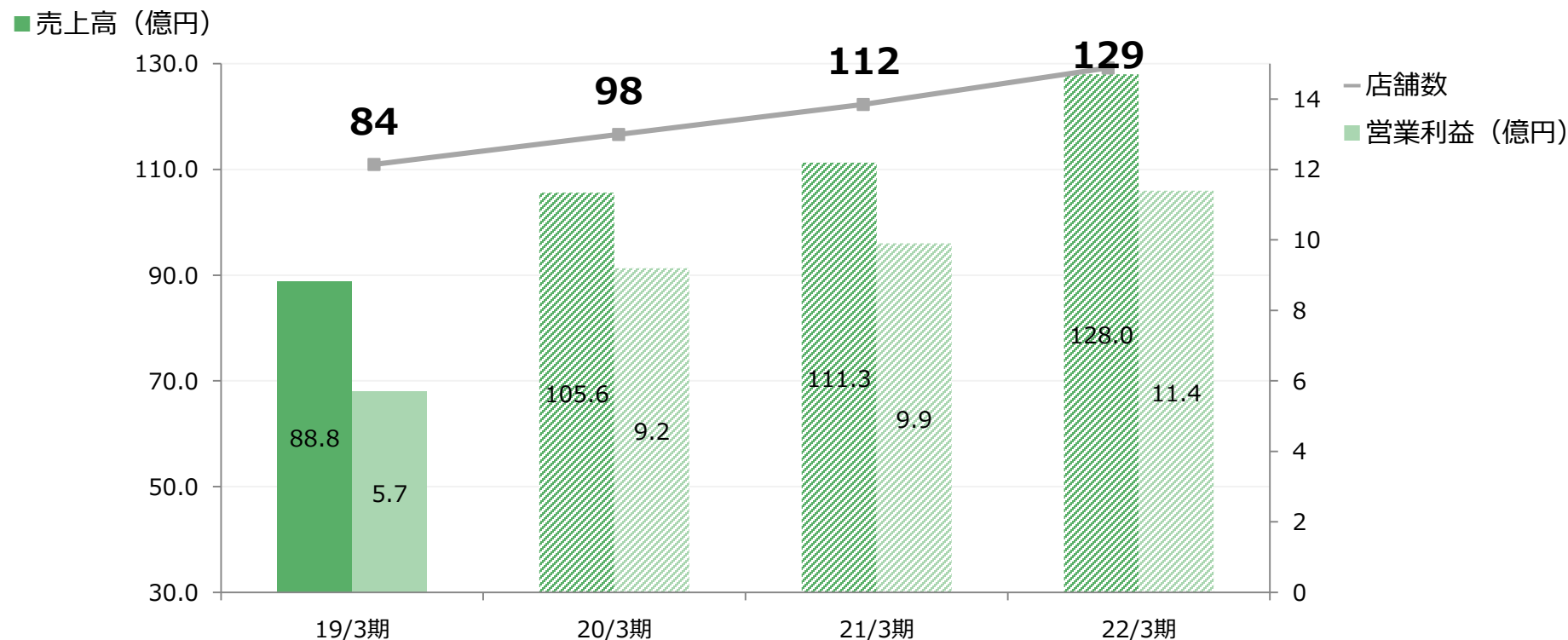
**販売本数約580万本
(前年比+20%)**



3-3. 店舗販売事業：和装店舗（BANKANわものや）

BELLUNA

今期は出退店の結果、19/9末で83店舗となった。上半期は増収増益となり、下半期で予算のキャッチアップを目指す。



3-3. 店舗販売事業：和装店舗（さが美GHD）

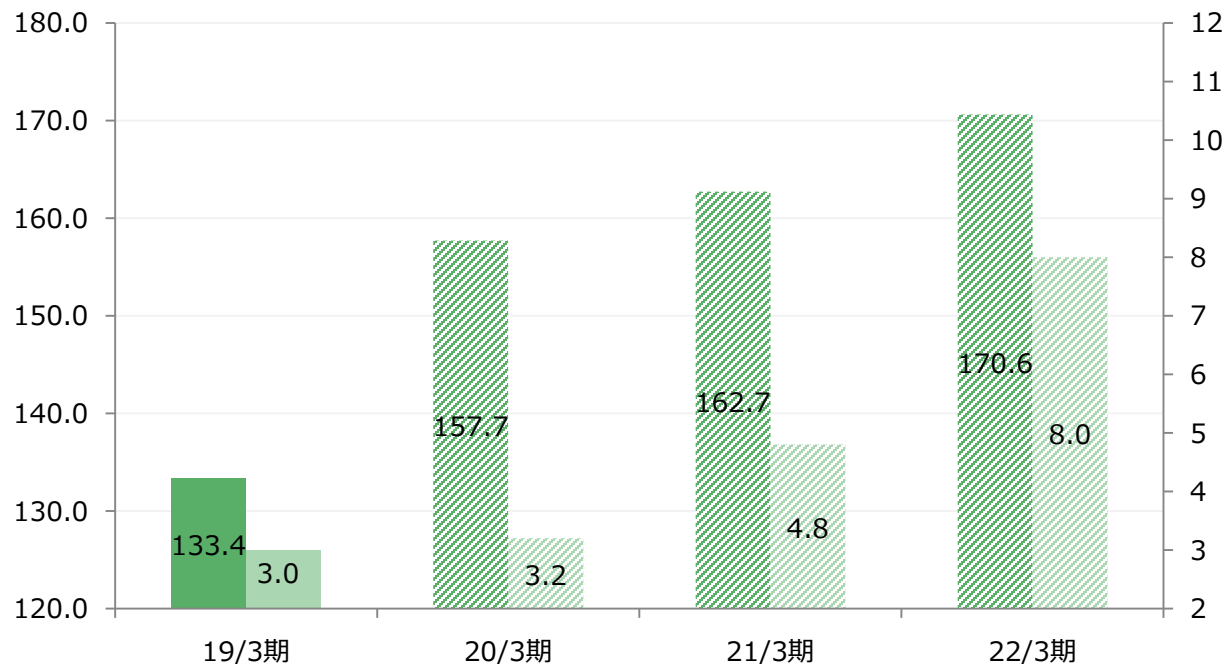
組織体制を刷新し、意識改革を進めている。バンカン方式導入を目的として新店舗を11月にオープン

<さが美>



■ 売上高（億円）

■ 営業利益（億円）



<東京ますいわ屋>



3-3. 店舗販売事業：和装店舗（さが美GHD）

BELLUNA

<さが美 桃花台店>

sagami



さが美新概念トショッ
の1号店がオープン

“sagami”屋号にて
バンカン方式の店舗

今期中に3店舗開店を
予定

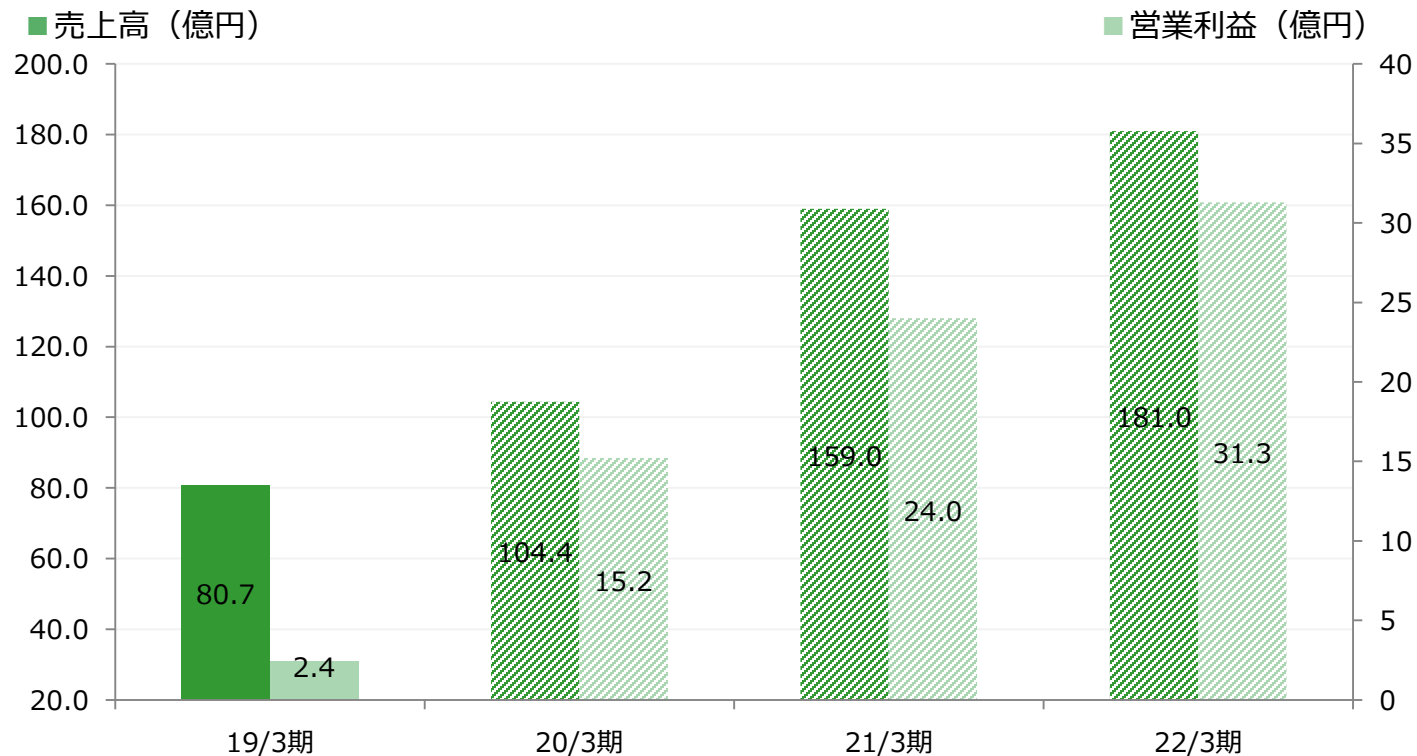
店舗 : MEGAドン・キホーテ桃花台店

所在地 : 愛知県小牧市古雅

開店日 : 2019年11月12日

3-4. プロパティ事業

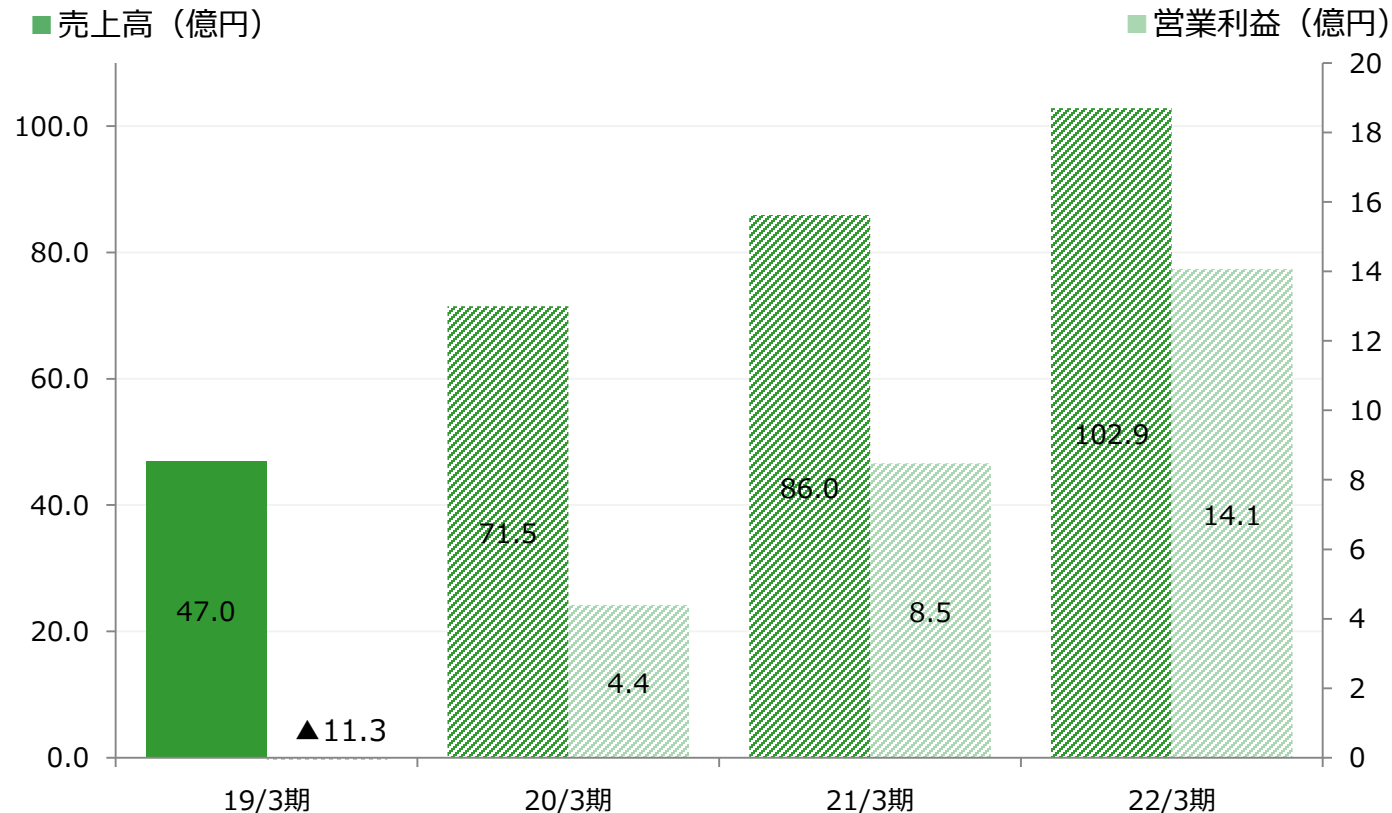
プロパティの予算乖離原因は主にリゾートホテルの進捗が遅れていること。積極的にテコ入れを行い早期の立て直しを図る



3-4. プロパティ：ホテル事業

リゾートホテルの収益改善に関して課題。直接のコ入れを行い、早期の黒字化を図る。

【経営計画（ホテル）】



3-5. 株主還元

配当について今期も1.0円の増配を実施し2期連続の株主還元増加を見込む

<年間配当>

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期予
EPS (円)	59.68	99.41	106.39	108.52
配当 (円)	12.5	12.5	15.0	16.0

<株主優待>

[内容]

	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券 またはベルーナネットで使用できる優待クーポン またはグルメ・ワイン商品詰め合わせ	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート宿泊優待券	1枚	2枚	4枚
ルグラン旧軽井沢宿泊優待券	1枚	1枚	1枚

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

※ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回（12月上旬発行分）のみの贈呈となります。



今年度は第四次経営計画の
初年度。最終年度で利益目
標を達成できるように収益性強
化を中心に取り組んでいく

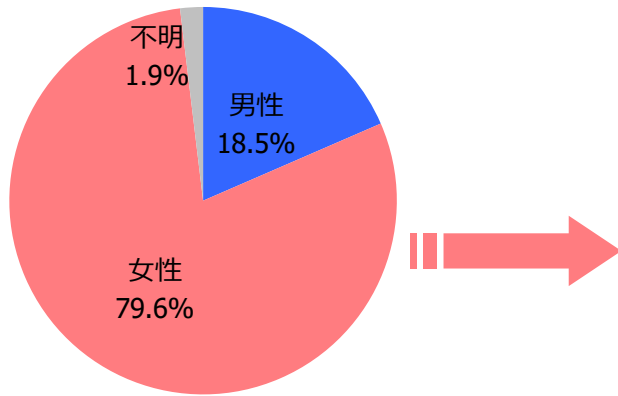
4. 参考資料

BELLUNA

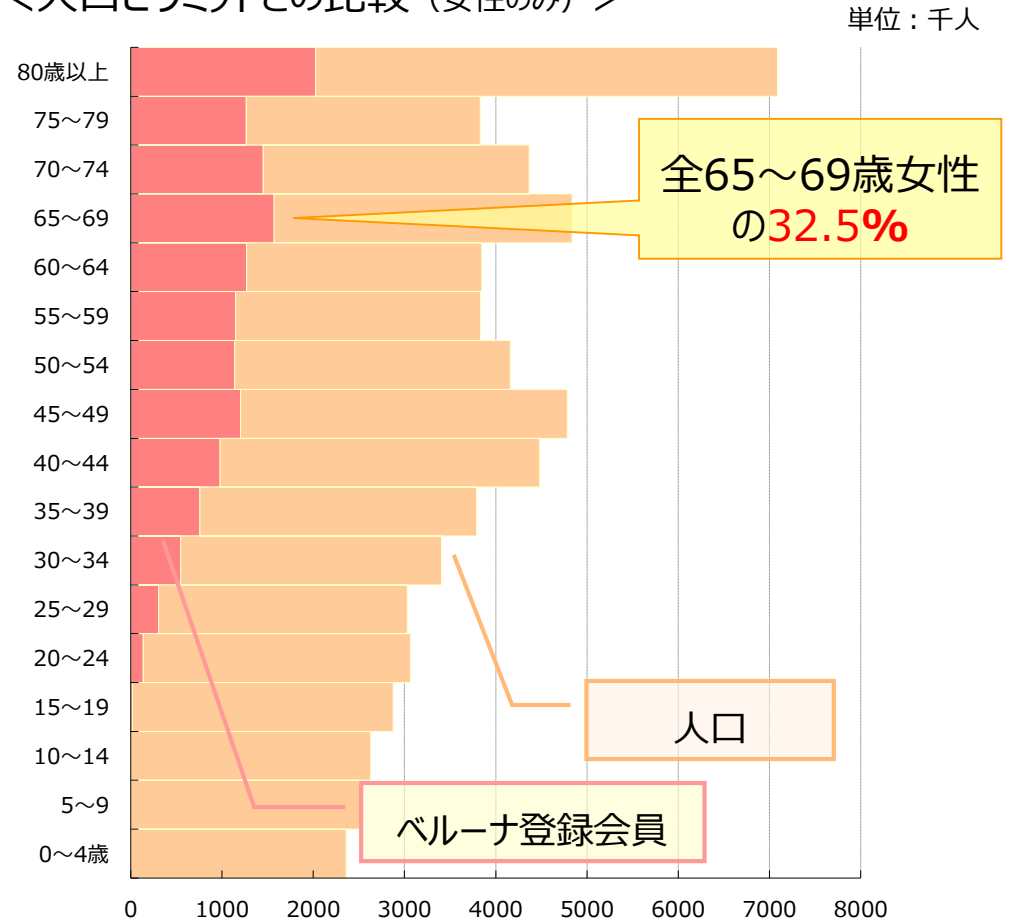
【総合通販】登録会員の特徴

登録会員の特徴（2019年3月末時点）

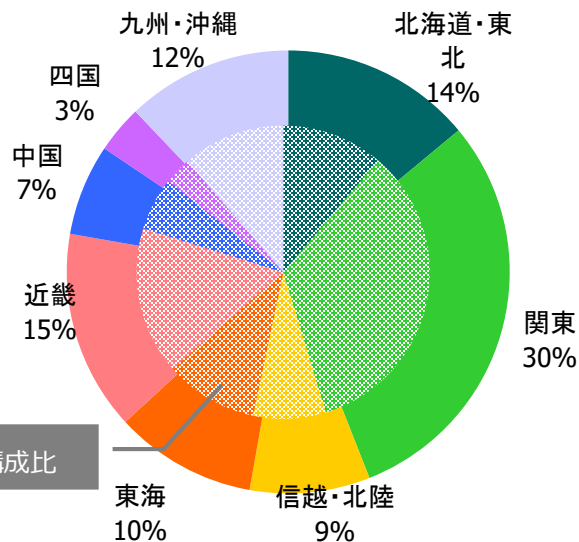
＜性別＞



＜人口ピラミッドとの比較（女性のみ）＞



＜地域＞



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

第四次経営計画（セグメント別）

BELLUNA

単位：億円

		第三次経営計画			第四次経営計画		
		2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	2022年3月期 計画
売上高	総合通販	752.6	786.1	776.4	735.3	753.8	811.1
	専門通販	410.0	460.1	478.5	503.0	533.5	603.5
	店舗事業	122.3	142.7	281.5	340.1	365.3	410.8
	ソリューション事業	54.3	61.1	62.6	69.6	73.6	82.2
	ファイナンス事業	30.9	34.6	38.3	44.3	49.9	56.8
	プロパティ事業	36.3	75.8	80.7	104.4	159.0	181.0
	その他+調整	54.4	56.4	58.8	53.3	65.0	54.6
	合計	1,460.8	1,616.7	1,776.7	1,850.0	2,000.0	2,200.0
営業利益	総合通販	44.7	42.6	38.1	29.0	38.1	47.8
	専門通販	27.5	26.6	32.6	36.7	41.7	51.4
	店舗事業	1.5	11.6	10.0	13.6	17.8	25.1
	ソリューション事業	24.2	23.7	22.7	23.8	28.7	31.4
	ファイナンス事業	11.8	15.7	17.6	19.8	21.9	26.3
	プロパティ事業	0.1	10.4	2.4	15.2	24.0	31.3
	その他+調整	-1.0	-0.5	-3.4	2.0	-2.2	-13.2
	合計	108.8	130.1	120.1	140.0	170.0	200.0

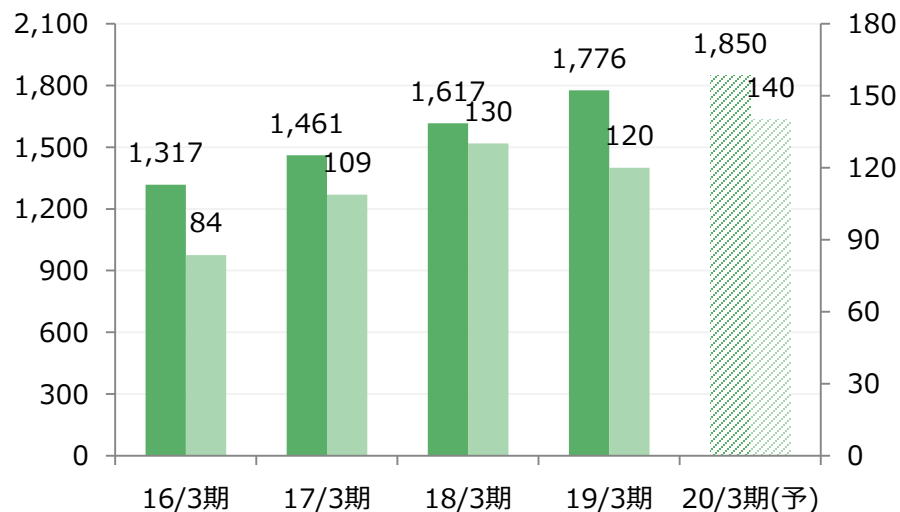
セグメント別

BELLUNA

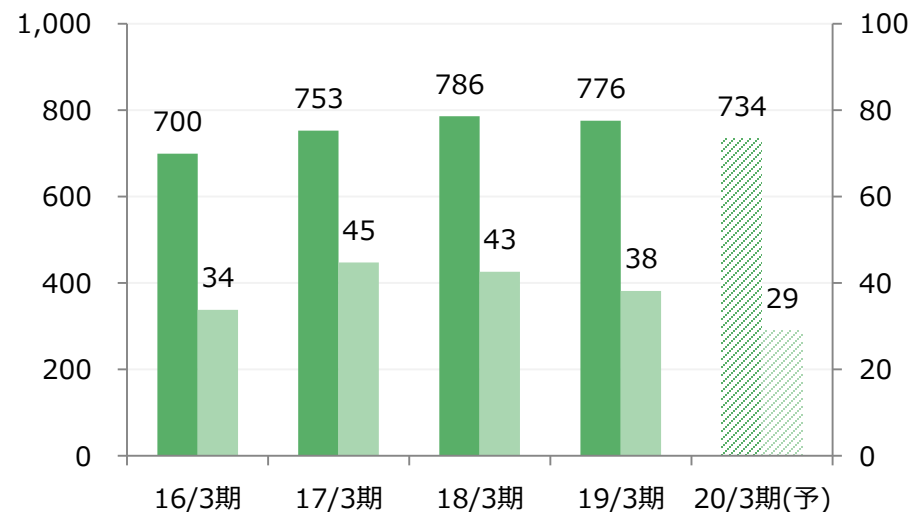
■ 売上高
■ 営業利益

単位：億円

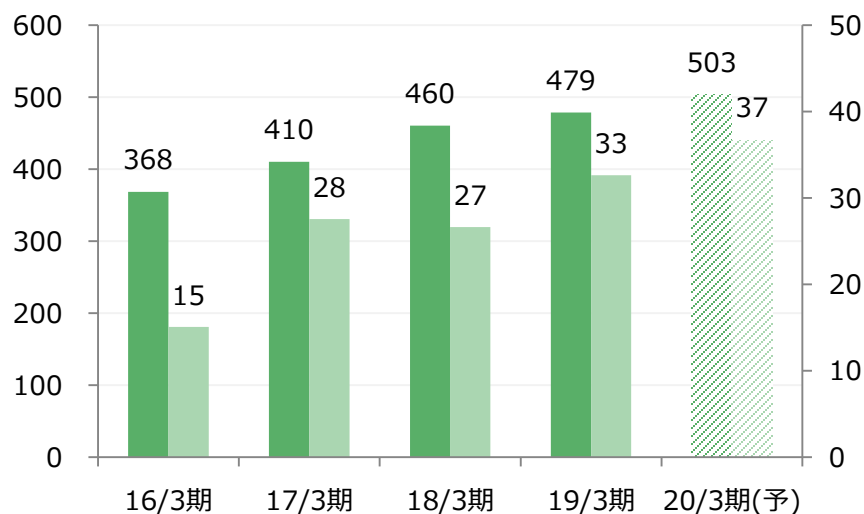
<連結合計>



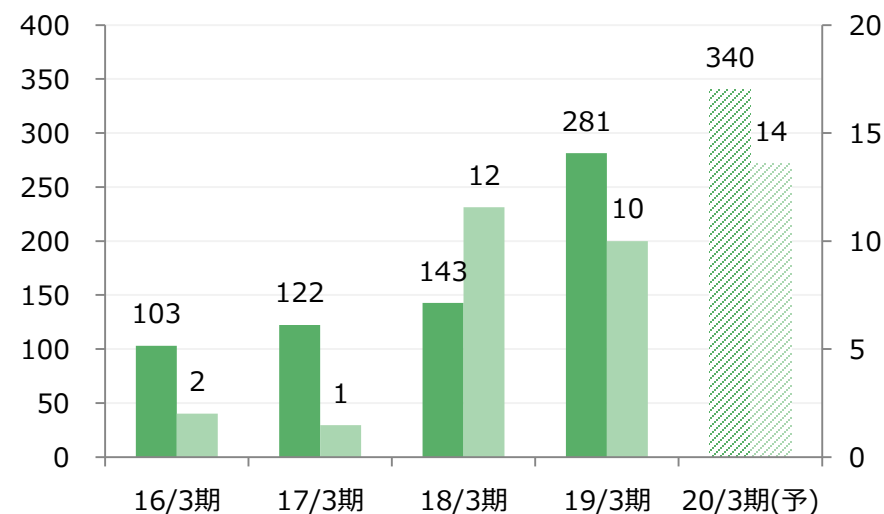
<総合通販事業>



<専門通販事業>

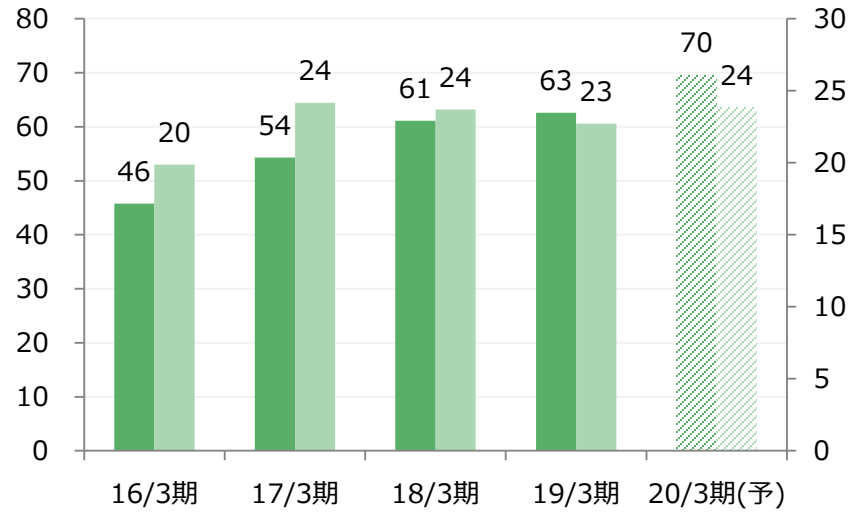


<店舗販売事業>

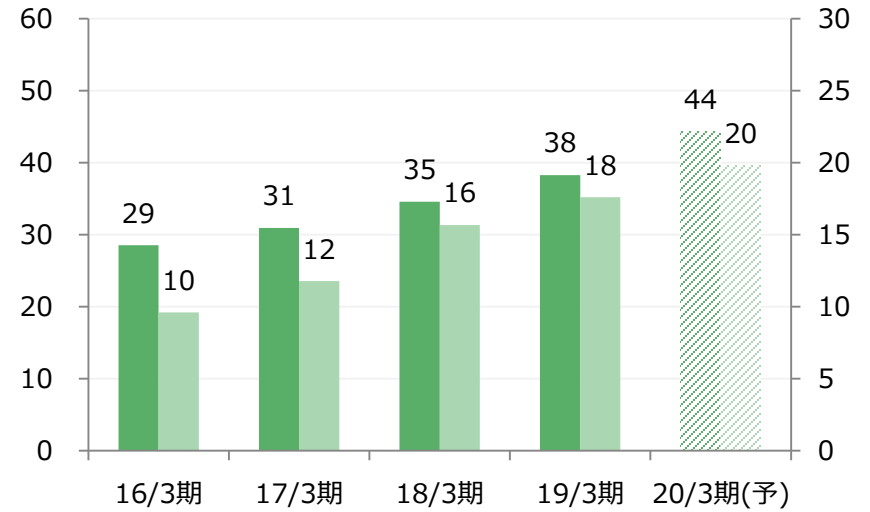


セグメント別

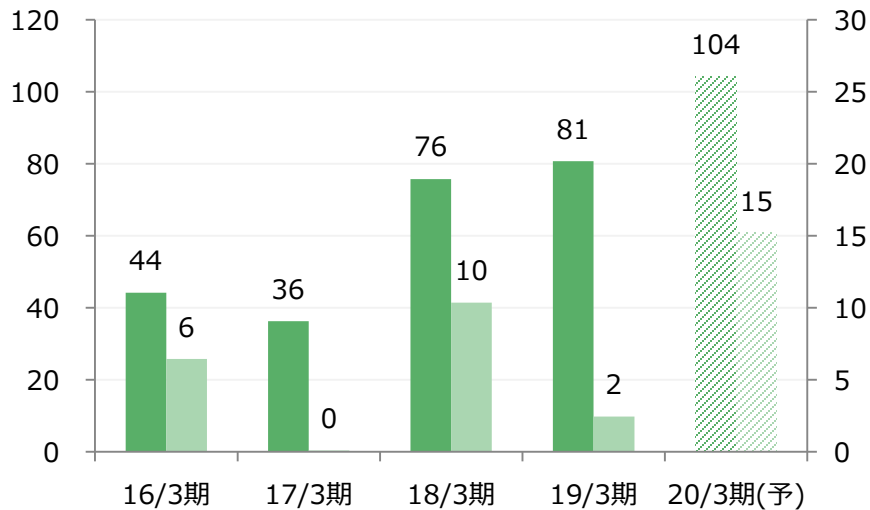
<ソリューション事業>



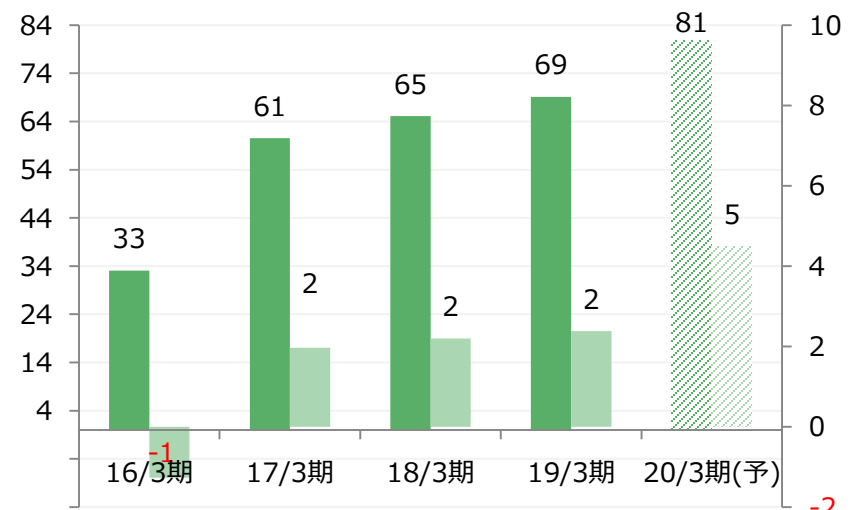
<ファイナンス事業>



<プロパティ事業>



<その他の事業>



<本資料に関する注意事項>

本資料は、2020年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2019年11月20日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp